

消化器内科 Gastroenterology

1. スタッフ構成(2026年3月時点)

- 二宮 朋之(副院長、地域医療キャリア形成支援センター長、中央病院経営改革本部副本部長、地域医療連携室長、医療秘書管理室長)

1990年愛媛大学医学部卒

専門分野:消化器疾患(特に消化管疾患)

資格:日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・消化器内視鏡指導医、日本超音波医学会超音波専門医・超音波指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本消化管学会胃腸科専門医・胃腸科指導医、厚生労働省臨床研修指導医

- 平岡 淳(主任部長)

1998年鹿児島大学医学部卒

専門分野:消化器疾患(特に肝疾患・肝臓)

資格:日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本肝臓学会肝臓専門医・指導医、日本超音波医学会超音波専門医・超音波指導医、厚生労働省臨床研修指導医

- 壺内 栄治(部長、消化器病センター副センター長)

1996年愛媛大学医学部卒

専門分野:消化器疾患(特に消化管疾患)

資格:日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・消化器内視鏡指導医、日本肝臓学会肝臓専門医、日本消化管学会胃腸科専門医・胃腸科指導医、日本ヘリコバクター学会H.Pylori(ピロリ菌)感染症認定医、厚生労働省臨床研修指導医

- 宮田 英樹(部長、内視鏡室長)

1996年札幌医科大学卒

専門分野:消化器疾患(特に胆膵疾患)

資格:日本内科学会認定内科医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・消化器内視鏡指導医、日本胆道学会指導医、日本膵臓学会指導医、厚生労働省臨床研修指導医

- 多田 藤政(部長)

2003年愛媛大学医学部卒

専門分野:消化器疾患(特に肝疾患・肝臓)

資格:日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・消化器内視鏡指導医、日本超音波医学会超音波専門医・超音波指導医、日本肝臓学会肝臓専門医・指導医、日本糖尿病学会糖尿病専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医・指導医、日本医師会認定産業医、厚生労働省臨床研修指導医

- 黒田 太良(部長)

2007年愛媛大学医学部卒

専門分野:消化器疾患(特に胆膵疾患)

資格:日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・消化器内視鏡指導医、日本膵臓学会指導医、日本肝臓学会肝臓専門医、日本胆道学会指導医、日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医・指導医、厚生労働省臨床研修指導医

- 大濱 日出子(部長)

2007年鳥取大学医学部卒

専門分野:消化器疾患(特に肝疾患・肝臓)

資格:日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本超音波医学会超音波専門医・超音波指導医、日本肝臓学会肝臓専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、厚生労働省臨床研修指導医

- 川村 智恵(部長)

2008年愛媛大学医学部卒

専門分野:消化器疾患(特に消化管疾患)

資格:日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・消化器内視鏡指導医、日本肝臓学会肝臓専門医、厚生労働省臨床研修指導医

- 兼光 梢(部長)

2010年大分大学医学部卒

専門分野:消化器疾患(特に胆膵疾患)

資格:日本内科学会認定内科医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本肝臓学会肝臓専門医、日本胆道学会指導医、日本膵臓学会指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、厚生労働省臨床研修指導医

- 北畑 翔吾(医長、IBD センター長)

2012年愛媛大学医学部卒

専門分野:消化器疾患

資格:日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本肝臓学会肝臓専門医、厚生労働省臨床研修指導医

- 大西 慶(医長、地域医療キャリア形成支援センター勤務)

2014年自治医科大学卒

専門分野:消化器疾患

資格:日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会上部消化管内視鏡スクリーニング認定医・大腸内視鏡スクリーニング認定医・消化器内視鏡専門医、日本病院総合診療医学会認定医、厚生労働省臨床研修指導医

- 加藤 佳夏子(医師)

2020年愛媛大学医学部卒

専門分野:消化器疾患

- 碓井 亨(医師)

2020年愛媛大学医学部卒

専門分野:消化器疾患

資格:日本内科学会総合内科専門医

- 松岡 順子(非常勤医師)

2006年自治医科大学卒

専門分野:消化器疾患

資格:日本内科学会総合内科専門医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医

- 中村 綾花(専攻医)

2022年愛媛大学医学部卒

専門分野:消化器疾患

資格:日本ヘリコバクター学会H.pylori(ピロリ菌)感染症認定医

- 木村 優伽(専攻医)

2022年香川大学医学部卒

専門分野:消化器疾患

- 齋藤 舞(専攻医)

2023年愛媛大学医学部卒

専門分野:消化器疾患

- 岩崎 竜一郎(診療委託)

- 寺尾 美紗(診療委託)
○須賀 義文(診療委託)

2. 実績

■ 疾患別入院患者数

疾患名	患者数
食道癌	92
食道・胃静脈瘤	47
胃潰瘍	35
胃癌	165
胃ポリープ	32
十二指腸潰瘍	8
十二指腸癌	11
十二指腸ポリープ	10
潰瘍性大腸炎	9
クローン病	11
イレウス	30
結腸憩室炎	12
結腸憩室出血	26
大腸ポリープ	56
大腸癌	76
S 状結腸軸捻転	12
肝炎	13
自己免疫性肝炎	11
肝硬変	14
肝癌	142
膵炎	73
自己免疫性膵炎	11
膵癌	139
急性胆嚢炎	10
胆嚢癌	14
急性胆管炎	27
総胆管結石性胆管炎	157
胆管癌	42
総胆管結石	102
その他	299
合計	1,686

■ 主な検査・治療・手術件数

検査・治療・手術名	症例数
上部消化管内視鏡検査	5,138
下部消化管内視鏡検査	2,545
食道静脈瘤硬化術、結紮術	59
内視鏡的止血術(上部消化管)	56
内視鏡的食道拡張術	45
上部消化管異物除去	15
内視鏡的胃瘻造設術	44
内視鏡的大腸ポリープ切除	825
内視鏡的粘膜下層剥離術(食道)	26

内視鏡的粘膜下層剥離術(胃)	150
内視鏡的粘膜下層剥離術(大腸)	48
内視鏡的大腸止血術	55
上部イレウス管挿入	38
大腸イレウス管挿入	4
大腸ステント留置	55
小腸内視鏡	15
カプセル内視鏡	32
超音波内視鏡(上部・下部)	16
ERCP	659
EST	398
内視鏡的截石術	247
内視鏡的胆道ドレナージ	296
管腔内超音波内視鏡検査(IDUS)	19
腹部超音波検査	4,858
腹部造影超音波検査	205
腹腔動脈造影(TAE 除く)	3
肝腫瘍に対する肝動脈塞栓術	122
RFA	70
エコー下肝生検	30
経皮的エコー下肝腫瘍生検	14
肝硬度測定	281
経皮経肝胆道ドレナージ	4
胆嚢ドレナージ	13
肝膿瘍ドレナージ	18
BRTO	11

3. 2026 年度目標

- (1) 医療レベルのさらなる向上
医療レベルをさらに向上させ、愛媛県内のみならず、全国的にもトップレベルの診療ができるように診療のレベルアップを目指します。
- (2) 医療安全の推進
リスクを伴う処置、治療が多いため、各人の医療安全意識の向上に努めるとともに、医療事故の発生確率を低下させるシステムづくりを医療スタッフと共に推進します。
- (3) 医学的エビデンスへの貢献
当院の診療経験で得られた知見をガイドライン作成に貢献できるような学術論文として継続して報告していくことで、自らの医療レベルの継続的振り返りを心がけて日常診療へフィードバックを行います。

4. 学術関係

(1) 学会発表および講演

1. Masafumi Ikeda, Takeshi Terashima, Tatsuya Yamashita, Takuji Okusaka, Hiroshi Imaoka, Tomokazu Kawaoka, Satoshi Kobayashi, Sadahisa Ogasawara, Atsushi Hiraoka, Masahito Nakano, Fumio Nagashima, Rie Sugimoto, Michihisa Moriguchi, Yoshitaka Inaba, Satoru Shinoda, Makoto Ueno, Naoya Kato, Masatoshi Kudo, Junji Furuse, Hiroaki Nagano. A multi-center, phase 2 study of atezolizumab plus bevacizumab combination therapy in patients with unresectable hepatocellular carcinoma and Child-Pugh class B cirrhosis: CHALLENGE trial final results. ASCO GI 2025. San Francisco (2025.1.23-25)

2. 平岡淳、原なぎさ、浪崎正、中井正人、坂本直哉、吉治仁志. 肝硬変・門脈圧亢進症 病態解析と診療の進歩 肝硬変外来患者における活動量低下の実態. 第 111 回日本消化器病学会総会. 東京 (2025.4.24-26)
3. 金山雄樹、畑中健、平岡淳、多田俊史、豊田秀徳、能祖一裕、柿崎暁、谷丈二、黒田英克、熊田卓. 消化器癌領域における免疫関連有害事象 切除不能肝細胞癌に対するデュルバルマブ(Dur)とトレメリムマブ(Tre)併用療法の治療効果と免疫関連有害事象(imAE)についての検討【多施設共同研究】. 第 111 回日本消化器病学会総会. 東京 (2025.4.24-26)
4. 北畑翔吾、村上大晟、大西慶、泉本裕文、兼光梢、川村智恵、黒田太良、大濱日出子、壺内栄治、二宮朋之. 非粘膜治癒および性別は潰瘍性大腸炎患者における非貧血性鉄欠乏症の有病率と関連する. 第 111 回日本消化器病学会総会. 東京 (2025.4.24-26)
5. 北畑翔吾、村上大晟、大西慶、泉本裕文、兼光梢、川村智恵、黒田太良、大濱日出子、壺内栄治、二宮朋之. 非侵襲的病勢評価方法の進歩 潰瘍性大腸炎の罹患範囲別にみた LRG と糞便マーカーの粘膜治癒予測性能の差. 第 111 回日本消化器病学会総会. 東京 (2025.4.24-26)
6. 田中一成、辻邦彦、平岡淳、多田俊史、畑中健、的野智光、狩山和也、糸林詠、高口浩一、矢田豊、川田一仁、石川達、厚川正則、黒田英克、田尻和人、柿崎暁、海堀昌樹、日浅陽一、榎本平之、工藤正俊、熊田卓. 切除不能肝細胞癌患者における腎機能障害と Atezolizumab+Bevacizumab 療法の有効性と安全性の検討. 第 111 回日本消化器病学会総会. 東京 (2025.4.24-26)
7. 平岡淳. 臨床視点で化学するへ肝予備能と uHCC 長期生存の関係～. 第 111 回日本消化器病学会総会. 東京 (2025.4.24-26)
8. 狩山和也、能祖一裕、川中美和、湧田暁子、塩田祥平、豊田秀徳、平岡淳、多田俊史、熊田卓. 健診コホートと MASLD 症例における FIB-4 index と FIB-3 index の比較検討. 第 111 回日本消化器病学会総会. 東京 (2025.4.24-26)
9. 木村優伽、兼光梢、中村綾花、松田拓也、松岡海南、加藤佳夏子、村川和也、大西慶、泉本裕文、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、大濱日出子、多田藤政、平岡淳、壺内栄治、宮田英樹、二宮朋之. ERCP 後の乳頭部出血におけるピュアスタッフ®の有用性に関する検討. 第 109 回日本消化器内視鏡学会総会. 札幌 (2025.5.9-11)
10. 兼光梢、木村優伽、中村綾花、松田拓也、松岡海南、加藤佳夏子、村川和也、大西慶、泉本裕文、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、大濱日出子、多田藤政、平岡淳、壺内栄治、宮田英樹、二宮朋之. 当院内視鏡検査からみる 10 年の変遷. 第 109 回日本消化器内視鏡学会総会. 札幌 (2025.5.9-11)
11. 多田藤政、的野智光、矢田豊. Child-Pugh A の Up to 7 基準外肝細胞癌に対する集学的治療におけるラジオ波の役割. 第 61 回日本肝臓学会総会. 東京 (2025.6.5-6)
12. 田中一成、辻邦彦、平岡淳. Intermediate stage HCC の治療戦略:新時代への挑戦 Intermediate stage HCC の生存期間延長に免疫療法レジメン選択は関与するか?【多施設共同研究】. 第 61 回日本肝臓学会総会. 東京 (2025.6.5-6)
13. 大濱日出子、多田藤政、平岡淳. 高齢者肝疾患の現状と問題点 高齢肝細胞癌患者における根治的治療施行の判断指標. 第 61 回日本肝臓学会総会. 東京 (2025.6.5-6)
14. 多田藤政、平岡淳、大濱日出子. 肝硬変・サルコペニアの栄養評価と栄養療法・運動療法 慢性肝疾患患者における筋肉量、筋力と圧迫骨折の関係. 第 61 回日本肝臓学会総会. 東京 (2025.6.5-6)
15. 腰山裕一、平岡淳、多田俊史. 免疫関連有害事象の病態、診断、マネジメント 当院及び多施設における STRIDE レジメンによる免疫関連有害事象の特徴とその対応. 第 61 回日本肝臓学会総会. 東京 (2025.6.5-6)
16. 松田拓也、平岡淳、多田藤政、大濱日出子、木村優伽、松岡海南、加藤佳夏子、大西慶、泉本裕文、北畑翔吾、兼光梢、川村智恵、黒田太良、壺内栄治、中村由子、廣岡昌史、日浅陽一. 当院における初発肝細胞癌の 10 年生存例の検討. 第 61 回日本肝臓学会総会. 東京 (2025.6.5-6)
17. 木村優伽、多田藤政、大濱日出子、松岡海南、松田拓也、加藤佳夏子、村川和也、大西慶、泉本裕文、北畑翔吾、兼光梢、川村智恵、黒田太良、壺内栄治、徳田和憲、花岡潤、平岡淳. 腹腔鏡下肝切除で診断した肝偽リンパ腫の 2 例. 第 61 回日本肝臓学会総会. 東京 (2025.6.5-6)
18. 中井崇行、大濱日出子、多田藤政、木村優伽、松岡海南、松田拓也、加藤佳夏子、村川和也、大西慶、泉本裕文、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、壺内栄治、平岡淳. 高齢化地域における後期高齢肝細胞癌患者の背景変化. 第 61 回日本肝臓学会総会. 東京 (2025.6.5-6)
19. 平岡淳、大濱日出子、多田藤政. 市中病院からやる気と根気で情報発信「ないもの以外、全部ある!」. 第 61 回日本肝臓学会総会. 東京 (2025.6.5-6)
20. 石村菜穂、花岡潤、徳田和憲、平岡淳、多田藤政、大濱日出子、宇都宮健. PET-CT における FDG 高集積は肝細胞癌早期再発における新たなバイオマーカーになり得る. 第 61 回日本肝臓学会総会. 東京 (2025.6.5-6)
21. Atsushi Hiraoka, Toshifumi Tada, Takashi Kumada. Immune therapy era for hepatocellular carcinoma: the real-world data of Japanese multicenter group. 第 61 回日本肝臓学会総会. 東京 (2025.6.5-6)
22. 平岡淳. C 型肝炎治療・肝疾患診療における臨床課題. 第 61 回日本肝臓学会総会. 東京 (2025.6.5-6)
23. 矢田豊、畑中健、平岡淳、多田俊史、廣岡昌史、狩山和也、谷丈二、厚川正則、高口浩一、糸林詠、柿崎暁、大濱日出子、辻邦彦、石川達、能祖一裕、豊田秀徳、長沼篤、熊田卓. 進行肝細胞癌に対するデュルバルマブ・トレメリムマブ併用療法における CRP の有用性【多施設共同研究】. 第 61 回日本肝臓学会総会. 東京 (2025.6.5-6)
24. 的野智光、多田藤政、平岡淳、多田俊史、畑中健、柿崎暁、豊田秀徳、狩山和也、中村進一郎、田中一成、筒井朱美、谷丈二、石川達、糸林詠、矢田豊、小川力、川田一仁、黒田英克、海堀昌樹、熊田卓. 切除不能肝細胞癌の免疫治療時代の治療効果判定バイオマーカーである腫瘍マーカーの現状. 第 61 回日本肝臓学会総会. 東京 (2025.6.5-6)
25. 加藤佳夏子、黒田太良、齋藤舞、木村優伽、中村綾花、碓井亨、大西慶、北畑翔吾、兼光梢、川村智恵、大濱日出子、多田藤政、平岡淳、宮田英樹、壺内栄治、二宮朋之. IDUS で診断し得た胆管憩室内結石の二例. 第 134 回日本消化器内視鏡学会四国支部例会. 高知 (2025.6.21-22)
26. 信森海南、川村智恵、中村綾花、木村優伽、松田拓也、加藤佳夏子、村川和也、大西慶、泉本裕文、北畑翔吾、兼光梢、松岡順子、大濱日出子、黒田太良、多田藤政、平岡淳、壺内栄治、宮田英樹、二宮朋之. S 状結腸に発生した有茎性 NET の一例. 第 134 回日本消化器内視鏡学会四国支部例会. 高知 (2025.6.21-22)
27. 大濱日出子、平岡淳. 肝細胞癌初発根治術後の検診における aMAP スコアの有用性. 第 64 回日本消化器がん検診学会総会. 旭川 (2025.6.27-29)
28. 大濱日出子、平岡淳、多田藤政、二宮朋之、阿部雅則、日浅陽一. 高齢者における肝がんの治療 当院における高齢者切除不能肝細胞癌に対する全身薬物療法の成績. 第 27 回日本高齢消化器病学会総会. 東京 (2025.7.4-5)
29. 黒田太良. 肝胆膵・消化管疾患における EUS 診断・治療の進歩. 第 47 回消化器病学会四国支部教育講演会. 愛媛・Web 開催 (2025.7.6)
30. 多田藤政. 肝疾患診療の最新知見と実践. 第 47 回消化器病学会四国支部教育講演会. 愛媛・Web 開催 (2025.7.6)
31. 北畑翔吾. やさしい IBD 診療. 第 47 回消化器病学会四国支部教育講演会. 愛媛・Web 開催 (2025.7.6)
32. 兼光梢、松田拓也、村川和也、黒田太良、宮田英樹. 膵がんに対する包括的ゲノムプロファイリング(CGP)検査の時代的变化. 第 56 回日本膵臓学会大会. 東京 (2025.7.25-26)
33. 北畑翔吾、木村優伽、中村綾花、松岡海南、松田拓也、加藤佳夏子、村川和也、大西慶、泉本裕文、川村智恵、松岡順子、大濱日出子、黒田太良、多田藤政、平岡淳、宮田英樹、壺内栄治、二宮朋之. Geboes score からみたミキズマブの治療効果予測. 第 16 回日本炎症性腸疾患学会学術集会. 北海道 (2025.8.22-23)
34. 多田藤政、平岡淳、大濱日出子、日浅陽一. 門脈圧亢進関連疾患における臓器相関 肝細胞癌患者における予後への影響・門脈圧亢進症と筋肉量減少の関係と比較. 第 32 回日本門脈圧亢進症学会総会. 奈良 (2025.9.11-12)
35. 多田藤政、厚川正則、多田俊史、畑中健、高口浩一、谷丈二、上田佳秀、辻邦彦、的野智光、青木智子、柿崎暁、豊田秀徳、西村貴士、糸林詠、中村進一郎、川田一仁、田尻和人、日浅陽一、熊田卓. 胃食道静脈瘤を有する切除不能肝細胞癌患者に対する Atezolizumab+Bevacizumab 療法における抗血栓薬使用の実態と治療アウトカム. 第 32 回日本門脈圧亢進症学会総会. 奈良 (2025.9.11-12)
36. 鈴木健太、新井泰央、加藤慶三、松浦健太郎、日高央、平岡淳、野崎昭人、厚川正則. C 型非代償性肝硬変患者に対する SOF/VEL 療法による SVR 獲得後の長期予後に関する検討. 第 32 回日本門脈圧亢進症学会総会. 奈良 (2025.9.11-12)
37. 平岡淳. 肝癌診療における免疫療法の進歩～デュルバルマブ+トレメリムマブの有用性～. 日本消化器病学会近畿支部第 123 回例会. 京都 (2025.9.13)
38. Yuka Kimura, Hideko Ohama, Atsushi Hiraoka, Takeshi Hatanaka, Fujimasa Tada, Toshifumi Tada, Satoru Kakisaki, Yoichi Hiasa, Takashi Kumada. Comparison of atezolizumab plus bevacizumab and durvalumab plus tremelimumab treatments for advanced stage hepatocellular carcinoma in liver cirrhosis patients with Child-Pugh class B. UEGW 2025. Berlin (2025.10.4-7)
39. Hideko Ohama, Atsushi Hiraoka, Toshifumi Tada, Takeshi Hatanaka, Hidenori Toyoda, Kazunari Tanaka, Hidekatsu Kuroda, Tomomitsu Matono, Fujimasa Tada, Joji Tani, Satoru Kakizaki, Kazuhiro Nouse, Masaki Kaibori, Yoichi Hiasa, Takashi Kumada. Prognostic Value of GNRI-C Score for Unresectable Hepatocellular Carcinoma Patients Treated with Lenvatinib Multicenter Retrospective Study. UEGW 2025. Berlin (2025.10.4-7)
40. Atsushi HIRAOKA, Sachiyo YOSHIO, Hideko OHAMA, Fujimasa TADA, Tomoyuki NINOMIYA. Simplified risk assessment for sarcopenia and muscle

- abnormalities in chronic liver disease patients using existing nutritional assessment tool. UEGW 2025. Berlin (2025.10.4-7)
41. Naho Ishimura, Atsushi Hiraoka, Jun Hanaoka, Hideko Ohama, Fujimasa Tada, Hiromi Ohtani, Jota Watanabe, Tomoyuki Ninomiya. Role of hepatic resection for BCLC stage B and C hepatocellular carcinoma: Should aggressive resection be avoided?. UEGW 2025. Berlin (2025.10.4-7)
 42. 平岡淳、多田俊史、熊田卓. 切除不能肝細胞がんに対する集学的治療の最前線 切除不能肝細胞癌に対する免疫療法時代のリアルワールドデータ【多施設共同研究】. 第 63 回日本癌治療学会学術集会. 横浜 (2025.10.16-18)
 43. 大濱日出子、平岡淳、多田俊史、畑中健、豊田秀徳、辻邦彦、糸林詠、黒田英克、玉井秀幸、能祖一裕、海堀昌樹、日浅陽一、工藤正俊、熊田卓. 切除不能肝細胞癌患者におけるアテゾリズマブ+ベバシズマブ療法の長期予後. 第 63 回日本癌治療学会学術集会. 横浜 (2025.10.16-18)
 44. Yuta Maruki, Takeshi Terashima, Masafumi Ikeda, Taro Yamashita, Hiroshi Imaoka, Tomokazu Kawaoka, Satoshi Kobayashi, Sadahisa Ogasawara, Atsushi Hiraoka, Masahito Nakano, Fumio Nagashima, Rie Sugimoto, Kaoru Tsuchiya, Hayato Hikita, Satoru Shinoda, Makoto Ueno, Naoya Kato, Masatoshi Kudo, Junji Furuse, Hiroaki Nagano. CHALLENGE Trial: Phase II Study of Atezolizumab + Bevacizumab for Unresectable HCC in Child-Pugh B Patients. 第 63 回日本癌治療学会学術集会. 横浜 (2025.10.16-18)
 45. Tomokazu Kawaoka, Tatsuya Yamashita, Michihisa Moriguchi, Atsushi Hiraoka, Masafumi Ikeda, Naoki Morimoto, Kaoru Tsuchiya, Hidenari Nagai, Ryotaro Sakamori, Shinichi Nakamura, Keiji Tsuji, Masatoshi Kudo, Masahito Shimizu, Hidekatsu Kuroda, Norihiro Kokudo, Junji Furuse, Masaru Harada, Takahiro Yamasaki, Kouji Yamamoto, Tetsuo Takehara. Patterns of Physical Activity Measured by Wearable Devices during Atezolizumab plus Bevacizumab Combination Therapy (Atezo+Bev) in Japanese Patients with Unresectable Hepatocellular Carcinoma: Results from the ELIXIR Study. ESMO Congress 2025. Berlin (2025.10.17-21)
 46. 多田藤政. 超音波による肝線維化および肝細胞癌診断の最前線. 日本超音波医学会第 24 回四国地方会講習会. 高知 (2025.10.18)
 47. 兼光梢、村川和也、黒田太良、二宮朋之、宮田英樹. 脾がんの包括的ゲノムプロファイリング(CGP)検査症例の予後因子解析から提出への提案. JDDW 2025 KOBE/第 67 回日本消化器病学会大会. 神戸 (2025.10.30-11.1)
 48. 大濱日出子、平岡淳、多田俊史、畑中健、豊田秀徳、田中一成、糸林詠、黒田英克、的野智光、玉井秀幸、矢田豊、多田藤政、谷丈二、柿崎嘯、上田佳秀、能祖一裕、海堀昌樹、日浅陽一、工藤正俊、熊田卓. Atezolizumab+Bevacizumab 療法初期導入切除不能肝細胞癌症例における長期治療成績. JDDW 2025 KOBE/第 29 回日本肝臓学会大会. 神戸 (2025.10.30-11.1)
 49. 多田藤政、平岡淳、大濱日出子、木村優伽、北畑翔吾、兼光梢、川村智恵、黒田太良、壺内栄治、中村由子、廣岡昌史、日浅陽一. 肝細胞癌に対する Borderline Resectable 変換基準を用いた治療成績の検討. JDDW 2025 KOBE/第 29 回日本肝臓学会大会. 神戸 (2025.10.30-11.1)
 50. 田中琴、北畑翔吾、木村優伽、中村綾花、松岡海南、松田拓也、加藤佳夏子、村川和也、大西慶、泉本裕文、川村智恵、松岡順子、大濱日出子、黒田太良、多田藤政、平岡淳、宮田英樹、壺内栄治、二宮朋之. 悪性腫瘍による成人腸重積を予測する因子. JDDW 2025 KOBE/第 110 回日本消化器内視鏡学会総会. 神戸 (2025.10.30-11.1)
 51. 平岡淳、多田藤政、大濱日出子、齋藤舞、中村綾花、木村優伽、加藤佳夏子、碓井亨、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、宮田英樹、壺内栄治、二宮朋之. 肝細胞癌に対するラジオ波焼灼術のポッピングで肝内出血を来した 1 例. 第 124 回日本消化器病学会四国支部例会. 徳島 (2025.11.15-16)
 52. 平岡淳、多田藤政、大濱日出子、碓井亨、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、宮田英樹、壺内栄治、二宮朋之. 愛媛県における非ウイルス性肝細胞癌増加時代の肝がん診療の現状と課題. 第 124 回日本消化器病学会四国支部例会. 徳島 (2025.11.15-16)
 53. 西谷瑠乃、北畑翔吾、齋藤舞、木村優伽、中村綾花、碓井亨、加藤佳夏子、大西慶、兼光梢、川村智恵、大濱日出子、黒田太良、松岡順子、多田藤政、宮田英樹、平岡淳、壺内栄治、二宮朋之. 糞便性腸閉塞の予後に関連する因子の検討. 第 124 回日本消化器病学会四国支部例会. 徳島 (2025.11.15-16)
 54. 北畑翔吾、齋藤舞、木村優伽、中村綾花、碓井亨、加藤佳夏子、大西慶、兼光梢、川村智恵、大濱日出子、黒田太良、松岡順子、多田藤政、宮田英樹、平岡淳、壺内栄治、二宮朋之. 消化管:消化管疾患診療の現状と展望、およびその取り組み 遠隔連携診療を用いた IBD 治療. 第 124 回日本消化器病学会四国支部例会. 徳島 (2025.11.15-16)
 55. 加藤佳夏子、壺内栄治、齋藤舞、木村優伽、中村綾花、碓井亨、北畑翔吾、兼光梢、川村智恵、大濱日出子、黒田太良、多田藤政、平岡淳、宮田英樹、二宮朋之. 径 5mm でリンパ節転移を来しI型胃 NET の一例. 第 124 回日本消化器病学会四国支部例会. 徳島 (2025.11.15-16)
 56. 矢野琴音、兼光梢、黒田太良、宮田英樹、齋藤舞、木村優伽、中村綾花、碓井亨、加藤佳夏子、北畑翔吾、川村智恵、大濱日出子、多田藤政、平岡淳、壺内栄治、二宮朋之. 肝門部に発生した Neuroendocrine carcinoma (NEC)の一例. 第 124 回日本消化器病学会四国支部例会. 徳島 (2025.11.15-16)
 57. 小林浩平、兼光梢、齋藤舞、木村優伽、中村綾花、碓井亨、加藤佳夏子、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、大濱日出子、多田藤政、平岡淳、壺内栄治、宮田英樹、二宮朋之. 総胆管に穿破し、閉塞性黄疸、胆管炎を来した intraductal papillary mucinous carcinoma (IPMC)の一例. 第 135 回日本消化器内視鏡学会四国支部例会. 徳島 (2025.11.15-16)
 58. Kakizaki S, Hatanaka T, Yata Y, Hiraoka A, Tada T, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Kuroda H, Takaguchi K, Itobayashi E, Ohama H, Naganuma A, Tsuji K, Ishikawa T, Toyoda H, Nouse K, Kumada T. Clinical Outcomes of Achieving Cancer-Free Status After Immunotherapy for Advanced Hepatocellular Carcinoma: A Multicenter Study. APDW 2025. Singapore (2025.11.18-22)
 59. 多田藤政、平岡淳、大濱日出子、齋藤舞、木村優伽、中村綾花、碓井亨、加藤佳夏子、大西慶、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、壺内栄治、日浅陽一. 慢性肝疾患患者におけるサルコペニア肥満の実態と臨床的特徴. 第 46 回日本肝臓学会西部会. 下関 (2025.12.4-5)
 60. 木村優伽、平岡淳、恩地森一、大野尚文、多田藤政、大濱日出子、加藤佳夏子、大西慶、北畑翔吾、兼光梢、川村智恵、黒田太良、壺内栄治、渡辺崇夫、吉田理、徳本良雄、日浅陽一. 四国西部地区における B 型肝炎ウイルスキャリアの遺伝子型の現状. 第 46 回日本肝臓学会西部会. 下関 (2025.12.4-5)
 61. 石村菜穂、花岡潤、渡邊常太、多田藤政、大濱日出子、平岡淳. 急性胆嚢炎を契機に発症した巨大肝被膜下膿瘍の 1 例. 第 46 回日本肝臓学会西部会. 下関 (2025.12.4-5)
 62. 大濱日出子、平岡淳、多田藤政、齋藤舞、木村優伽、中村綾花、碓井亨、加藤佳夏子、北畑翔吾、兼光梢、川村智恵、黒田太良、壺内栄治、廣岡昌史、日浅陽一. 肝細胞癌根治治療後の再発に対する肥満の影響. 第 46 回日本肝臓学会西部会. 下関 (2025.12.4-5)
 63. Thomas Yau, Peter R. Galle, Thomas Decaens, Bruno Sangro, Shukui Qin, Joong-Won Park, Masafumi Ikeda, David Tai, Chang-Fang Chiu, Hong Jae Chon, Yoon-Koo Kang, Atsushi Hiraoka, Yi-Hsiang Huang, Teng-Yu Lee, Kazushi Numata, Tatsuya Yamashita, Tatsuya Ogata, Nan Hu, Masatoshi Kudo. Overall efficacy outcomes of nivolumab plus ipilimumab by occurrence of immune-mediated adverse events and additional safety from Asian patients in CheckMate 9DW. ESMO Asia Congress 2025. Singapore (2025.12.5-7)
- ## (2) 論文・著書
1. Ohama H, Hiraoka A, Tada T, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Hatanaka T, Kakizaki S, Shimada N, Kawata K, Naganuma A, Kosaka H, Matono T, Kuroda H, Yata Y, Tanaka H, Nishikawa H, Shibata H, Tada F, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Koizumi Y, Nakamura S, Iijima H, Kaibori M, Hiasa Y, Kumada T. Geriatric nutritional risk index and newly developed scoring system as prognosis prediction for unresectable hepatocellular carcinoma patients treated with lenvatinib. Sci Rep 15(1). 72 (2025.1.2)
 2. Naganuma A, Kakizaki S, Hiraoka A, Tada T, Hatanaka T, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Toyoda H, Ogawa C, Nishikawa H, Nishimura T, Kawata K, Kosaka H, Hirooka M, Yata Y, Ohama H, Kuroda H, Matono T, Aoki T, Kanayama Y, Tanaka K, Tada F, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Nakamura S, Enomoto H, Kaibori M, Hiasa Y, Kudo M, Kumada T. Evaluation of Treatment Outcomes Using dNLR and GNRI in Combination Therapy With Atezolizumab and Bevacizumab for Hepatocellular Carcinoma. Cancer Med 14(2). e70618 (2025. 1)
 3. Hiraoka A, Kudo M, Tada T, Hatanaka T, Kakizaki S, Kariyama K, Ohama H, Tsuji K, Ishikawa T, Takaguchi K, Itobayashi E, Toyoda H, Matono T, Yata Y, Ogawa C, Naganuma A, Tani J, Atsukawa M, Nishimura T, Tajiri K, Kawata K, Kosaka H, Kuroda H, Hirooka M, Nishikawa H, Tada F, Nakamura S, Kanayama Y, Nouse K, Tanaka H, Tanaka K, Imai M, Tsutsui A, Nagano T, Aoki T, Koshiyama Y, Morishita A, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Fukunishi S, Noritake H, Nakamura Y, Yoshida O, Enomoto H, Kaibori M, Hiasa Y, Kumada T. The Current Status of Tumor Markers as Biomarkers in the Era of Immunotherapy for Hepatocellular Carcinoma: Alpha- Fetoprotein Alone Is Not Sufficient. Oncology 104(1). 71-91 (2025.2.3)
 4. 平岡淳. 肝良性腫瘍 Benign Hepatic Tumors. 今日の診療指針 第 9 版. 医学書院. 721-723 (2025.2.10)

5. Kitahata S, Nakamura A, Kimura Y, Fukumoto M, Matsuoka K, Matsuda T, Murakawa K, Murakami K, Onishi K, Izumoto H, Kanemitsu-Okada K, Kawamura T, Kuroda T, Matsuoka J, Tada F, Miyata H, Hiraoka A, Tange K, Yamamoto Y, Takeshita E, Ikeda Y, Furukawa S, Tsubouchi E, Ninomiya T, Hiasa Y. Characteristics of Adult Intussusception due to Malignancy in Japanese Patients. *JGH Open* 9(2). e70118 (2025.2.20)
6. Watanabe T, Tokumoto Y, Ochi H, Mashiba T, Tada F, Hiraoka A, Kisaka Y, Tanaka Y, Yagi S, Nakanishi S, Sunago K, Yamauchi K, Higashino M, Hirooka K, Tange M, Yukimoto A, Morita M, Okazaki Y, Hirooka M, Abe M, Hiasa Y. Publisher Correction: Clinical factors to predict changes of esophagogastric varices after sustained viral response with direct-acting antiviral therapy. *J Gastroenterol* 60(2). 261-262 (2025.2)
7. Kuroda T, Miyata H, Kanemitsu-Okada K, Yanagihara E, Saneto H, Murakami T, Izumoto H, Onishi K, Kitahata S, Kawamura T, Iwasaki R, Tada F, Tsubouchi E, Hiraoka A, Ninomiya T. Development of a Scoring System for Predicting the Difficulty of Bile Duct Cannulation and Selecting the Appropriate Cannulation Method. *Dig Dis Sci* 70(2). 843-852 (2025.2)
8. Watanabe T, Tokumoto Y, Ochi H, Mashiba T, Tada F, Hiraoka A, Kisaka Y, Tanaka Y, Yagi S, Nakanishi S, Sunago K, Yamauchi K, Higashino M, Hirooka K, Tange M, Yukimoto A, Morita M, Okazaki Y, Hirooka M, Abe M, Hiasa Y. Clinical factors to predict changes of esophagogastric varices after sustained viral response with direct-acting antiviral therapy. *J Gastroenterol* 60(2). 222-234 (2025.2)
9. 多田藤政、阿部雅則、日浅陽一. 肝臓内科医の視点からみた市中病院入院患者における肝悪性腫瘍と高齢化の関係. *日本高齢消化器病学会誌* 27 巻(2 号). 50-55 (2025.3.18)
10. Koyano K, Atsukawa M, Tsubota A, Kondo C, Miwa T, Namisaki T, Hiraoka A, Toyoda H, Tada T, Kobayashi Y, Kawata K, Matsuura K, Mikami S, Kawabe N, Oikawa T, Suzuki K, Kawano T, Okubo T, Arai T, Tani J, Morishita A, Iwasa M, Ishikawa T, Ikegami T, Tanaka Y, Shimizu M, Yoshiji H, Iwakiri K. Association Between Laboratory Values and Covert Hepatic Encephalopathy in Patients with Liver Cirrhosis: A Multicenter, Retrospective Study. *J Clin Med* 14(6). 1858 (2025.3.10)
11. Nguyen KV, Matsui K, Kosaka H, Matsushima H, Yamamoto H, Lai TT, Inoue K, Takada M, Tada F, Hiraoka A, Hatanaka T, Tada T, Kumada T, Kato H, Yoshii K, Yamaguchi T, Shimoda S, Naganuma M, Kaibori M. Cachexia Index as a Prognostic Indicator in Patients with Unresectable Hepatocellular Carcinoma Receiving Atezolizumab and Bevacizumab Therapy. *Oncology* 104(2). 113-124 (2025.3.28)
12. 齋藤舞、兼光梢、松田拓也、松岡海南、福本真惟、中谷康輔、柳原映美、實藤洋伸、村上大晟、大西慶、泉本裕文、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、多田藤政、平岡淳、壺内栄治、宮田英樹、二宮朋之、木藤克己. 高度悪性転化を来した solid pseudopapillary neoplasm の一例. *愛媛県立病院学会々誌* 59 巻. 53-56 (2025.3.31)
13. Hiraoka A, Tada T, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ohama H, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Hatanaka T, Kakizaki S, Kawata K, Naganuma A, Kosaka H, Matono T, Kuroda H, Yata Y, Nishikawa H, Imai M, Aoki T, Ochi H, Tada F, Nakamura S, Nakamura Y, Nouse K, Morishita A, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Tsutsui A, Nagano T, Tanaka K, Tanaka H, Koshiyama Y, Kanayama Y, Noritake H, Enomoto H, Kaibori M, Hiasa Y, Kudo M, Kumada T; RELPEC Group and HCC 48 Group. Efficacy of durvalumab plus tremelimumab treatment for unresectable hepatocellular carcinoma in immunotherapy era clinical practice. *Hepatol Res* 55(3). 444-453 (2025.3)
14. 平岡淳、工藤正俊. 肝臓診療のための肝予備能評価とステージングシステム. *肝臓診療マニュアル 第5版*. (編)日本肝臓学会. 医学書院. 97-101 (2025.4.21)
15. 青木智子、平岡淳. cancer free 達成後のドラッグオフ基準. *肝臓診療マニュアル 第5版*. (編)日本肝臓学会. 医学書院. 214-217 (2025.4.21)
16. 南康範、平岡淳. 治療開始後の OS のサロゲートマーカーは何か? *肝臓診療マニュアル 第5版*. (編)日本肝臓学会. 医学書院. 217-219 (2025.4.21)
17. 小笠原定久、平岡淳、畑中健. 進行肝臓における sequential 治療の重要性. *肝臓診療マニュアル 第5版*. (編)日本肝臓学会. 医学書院. 226-228 (2025.4.21)
18. 平岡淳、土谷薫、小玉尚宏、上嶋一臣. 薬物療法の効果は etiology によって異なるか? *肝臓診療マニュアル 第5版*. (編)日本肝臓学会. 医学書院. 257-259 (2025.4.21)
19. 畑中健、多田俊史、土谷薫、平岡淳. 全身薬物療法における炎症マーカー・栄養状態・サルコペニアの重要性. *肝臓診療マニュアル 第5版*. (編)日本肝臓学会. 医学書院. 267-270 (2025.4.21)
20. 能祖一裕、平岡淳、山田友春. 腸内細菌と免疫療法の効果. *肝臓診療マニュアル 第5版*. (編)日本肝臓学会. 医学書院. 270-271 (2025.4.21)
21. 二宮匡史、越智裕紀、平岡淳、畑中健. 再発に対する治療法の選択 1. 内科的視点. *肝臓診療マニュアル 第5版*. (編)日本肝臓学会. 医学書院. 367 (2025.4.21)
22. 平岡淳、多田藤政、中谷康輔. 肝性脳症. *消化器疾患最新の治療* 2025-2026. 南江堂. 364-270 (2025.4)
23. Hatanaka T, Kakizaki S, Hiraoka A, Tada T, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Toyoda H, Ogawa C, Nishikawa H, Nishimura T, Kawata K, Kosaka H, Naganuma A, Yata Y, Ohama H, Kuroda H, Matono T, Tanaka K, Tada F, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Koizumi Y, Nakamura S, Kaibori M, Iijima H, Hiasa Y, Kumada T; Real-life Practice Experts for HCC (RELPEC) Study Group, and HCC 48 Group (hepatocellular carcinoma experts from 48 clinics in Japan). Reliable Performance of mALBI Grade-Based Risk Models for Predicting the Prognosis of Patients With Hepatocellular Carcinoma Receiving Atezolizumab Plus Bevacizumab as First-Line Treatment: Comparative Analysis of 13 Risk Models. *J Gastroenterol Hepatol* 40(4). 930-939 (2025.4)
24. Matono T, Tada T, Kumada T, Hiraoka A, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Nishikawa H, Tanaka K, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Koshiyama Y, Toyoda H, Ogawa C, Hatanaka T, Kakizaki S, Kawata K, Ohama H, Tada F, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Nishimura T, Imai M, Kosaka H, Naganuma A, Aoki T, Kuroda H, Yata Y, Nakamura Y, Yoshida O, Nakamura S, Enomoto H, Kaibori M, Hiasa Y, Kudo M; Real-life Practice Experts for HCC (RELPEC) Study Group; Hepatocellular Carcinoma Experts from 48 clinics in Japan (HCC 48) Group. Survival Outcomes Associated With Radiological Progressive Disease Subtypes in Patients With Atezolizumab and Bevacizumab-Treated HCC. *J Gastroenterol Hepatol* 40(4). 949-959 (2025.4)
25. Kitahata S, Nakamura A, Kimura Y, Fukumoto M, Matsuoka K, Matsuda T, Murakawa K, Murakami T, Onishi K, Izumoto H, Kanemitsu-Okada K, Kawamura T, Kuroda T, Matsuoka J, Tada F, Miyata H, Hiraoka A, Tange K, Yamamoto Y, Takeshita E, Ikeda Y, Furukawa S, Tsubouchi E, Ninomiya T, Hiasa Y. History of Previous Medication Self-Discontinuation Predicts the Current Adherence to 5-Aminosalicylates in Patients With Ulcerative Colitis. *JGH Open* 9(5). e70181 (2025.5.20)
26. Naganuma A, Kakizaki S, Hatanaka T, Hiraoka A, Tada T, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Toyoda H, Koshiyama Y, Ogawa C, Nishikawa H, Nishimura T, Kawata K, Kosaka H, Matsui K, Yata Y, Tanaka H, Ohama H, Kuroda H, Matono T, Aoki T, Ochi H, Imai M, Nakamura S, Kanayama Y, Tanaka K, Tada F, Yoshida O, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Enomoto H, Kaibori M, Hiasa Y, Kudo M, Kumada T; Real-life Practice Experts for HCC (RELPEC) Study Group, and HCC 48 Group (hepatocellular carcinoma experts from 48 clinics in Japan). Impact of time-of-day atezolizumab plus bevacizumab combination therapy infusion for unresectable hepatocellular carcinoma: A retrospective multicenter study. *Hepatol Res* 55(5). 741-751 (2025.5)
27. Toyoda H, Hiraoka A, Ochi H, Tsuji K, Tajiri K, Tani J, Tada T, Okubo T, Atsukawa M, Hirooka M, Itobayashi E, Hatanaka T, Kariyama K, Ishikawa T, Kuroda H, Takaguchi K, Kosaka H, Kawada K, Kakizaki S, Yada Y, Ogawa C, Nishimura T, Yasuda S, Deguchi A, Morishita A, Itokawa N, Arai T, Tsutsui A, Naganuma A, Enomoto H, Kaibori M, Nouse K, Hiasa Y, Kumada T, Akita T, Tanaka J, Johnson PJ. Prognostic Significance of the BALAD Serological Model in Systemic Therapies for Hepatocellular Carcinoma: A Personalized Approach to the Prediction of Survival Benefit. *JCO Clin Cancer Inform* 9. e2400175 (2025.5)
28. Kudo M, Ueshima K, Tsuchiya K, Yamashita T, Shimose S, Numata K, Kodama Y, Itoh S, Tanaka Y, Kuroda H, Aikata H, Hiraoka A, Moriguchi M, Tateishi R, Ogasawara S, Yamamoto K, Ikeda M. Primary Analysis of a Phase II Study of Atezolizumab plus Bevacizumab for TACE-Unsuitable Patients with Tumor Burden beyond Up-To-Seven Criteria in Intermediate-Stage Hepatocellular Carcinoma: REPLACEMENT Study. *Liver Cancer*. doi:10.1159/000546899 (2025.6.19)
29. 多田藤政、平岡淳、大濱日出子、二宮朋之、花岡潤、渡邊常太、大谷広美、廣岡昌史、日浅陽一. 【未来を見据えた超音波～意識・知識・技術の融合～】腹腔鏡下肝亜区域切除で診断に至った肝血管筋脂肪腫の一例. *Rad Fan* 2025 年 7 月号 23 巻(7 号). 80-82 (2025.6.30)
30. Aoki T, Kudo M, Nishida N, Ueshima K, Tsuchiya K, Tada T, Morita M, Chishina H, Takita M, Hagiwara S, Ida H, Minami Y, Kuroda H, Nakamura N, Hiraoka A, Tomonari T, Tani J, Naganuma A, Kakizaki S, Ogawa C, Hat-

- anaka T, Ishikawa T, Kawata K, Takebe A, Matsumoto I, Hidaka M, Kurosaki M, Kumada T, Izumi N. Proposal of discontinuation criteria of atezolizumab plus bevacizumab after curative conversion therapy for unresectable early-to-intermediate-stage hepatocellular carcinoma: a multicenter proof-of-concept study. *J Gastroenterol* 60(6). 738-753 (2025.6)
31. Kitahata S, Saito M, Kimura Y, Nakamura A, Usui T, Kato K, Onishi K, Kanemitsu-Okada K, Kawamura T, Ohama H, Kuroda T, Matsuoka J, Tada F, Miyata H, Hiraoka A, Tsubouchi E, Ninomiya T, Hiasa Y. Mirikizumab Efficacy in Ulcerative Colitis: Association With Pretreatment Geboes Score Features in a Case Series. *Inflamm Bowel Dis*. *Inflamm Bowel Dis* 32(3). 581-583 (2025.7.16)
32. Tanaka K, Tsuji K, Hiraoka A, Tada T, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Toyoda H, Koshiyama Y, Ogawa C, Nishikawa H, Nishimura T, Hatanaka T, Kakizaki S, Noritake H, Kawata K, Naganuma A, Kosaka H, Matsui K, Matono T, Kuroda H, Yata Y, Tanaka H, Aoki T, Tamai H, Tada F, Ohama H, Kanayama Y, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Yoshida O, Imai M, Nakamura S, Enomoto H, Kaibori M, Kudo M, Hiasa Y, Kumada T; Real-life Practice Experts for HCC (RELPEC) Study Group; HCC 48 Group (hepatocellular carcinoma experts from 48 clinics in Japan). Alpha-Fetoprotein and Des-Gamma-Carboxy Prothrombin-Based Tumor Marker Score for First-Line Immunotherapy Selection in Hepatocellular Carcinoma. *Liver Cancer*. doi:10.1159/000547519. (2025.7.21)
33. 大濱日出子, 平岡淳. 急性肝炎. レジデントのための腹部エコー教室. (編) 打田佐和子. 日本医事新報社. 48-51 (2025.7.24)
34. Miwa T, Tsuruoka M, Ueda H, Abe T, Inada H, Yukawa-Muto Y, Ohara M, Arai T, Tamai Y, Isoda H, Tadokoro T, Hanai T, Ito T, Tamaki N, Sakamaki A, Aoki Y, Tada F, Yoshio S, Takahashi H, Morishita A, Ishikawa T, Inoue J, Suda G, Ogawa C, Atsukawa M, Hiraoka A, Kuroda H, Namisaki T, Honda T, Kawaguchi T, Tanaka Y, Terai S, Ikegami T, Yoshiji H, Iwasa M, Shimizu M. Current management and future perspectives of covert hepatic encephalopathy in Japan: a nationwide survey. *J Gastroenterol* 60(7). 866-876 (2025.7)
35. Hatanaka T, Yata Y, Hiraoka A, Tada T, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Kakizaki S, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Toyoda H, Koshiyama Y, Ogawa C, Nishikawa H, Nishimura T, Kawata K, Kosaka H, Matsui K, Naganuma A, Tanaka H, Ohama H, Kuroda H, Matono T, Aoki T, Ochi H, Imai M, Nakamura S, Kanayama Y, Tanaka K, Tada F, Yoshida O, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Enomoto H, Kaibori M, Hiasa Y, Kudo M, Kumada T; Real-life Practice Experts for HCC (RELPEC) Study Group, HCC 48 Group (hepatocellular carcinoma experts from 48 clinics in Japan). Clinical Impact of Serum CRP Levels on Advanced HCC Treated With Durvalumab and Tremelimumab: A Multicentre Study. *Liver Int* 45(7). e70192 (2025.7)
36. Ochi H, Tani J, Tomonari T, Tanaka H, Imai Y, Tanaka T, Ohama H, Tada F, Hiraoka A, Hirose A, Ogawa C, Morishita A, Moriya A, Nakamura Y, Hirooka M, Deguchi A; SYMPLE Study Group. Impact of muscle volume changes following atezolizumab-bevacizumab therapy in patients with unresectable hepatocellular carcinoma. Impact of muscle volume changes following atezolizumab-bevacizumab therapy in patients with unresectable hepatocellular carcinoma. *Hepatol Res* 55(7). 1046-1053 (2025.7)
37. 平岡淳, 大濱日出子, 多田藤政. 【薬剤師なら知っておきたい はたらく肝臓】肝臓の病気と薬物代謝への影響編 肝がんサバイバーの肝機能. 調剤と情報 2025 年 7 月号 31 巻(9 号). 1668-1673 (2025.7)
38. Ohama H, Hiraoka A, Tada T, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Toyoda H, Koshiyama Y, Ogawa C, Nishikawa H, Nishimura T, Hatanaka T, Kakizaki S, Noritake H, Kawata K, Naganuma A, Kosaka H, Matsui K, Matono T, Kuroda H, Yata Y, Tanaka H, Aoki T, Tamai H, Tada F, Kanayama Y, Tanaka K, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Miyake T, Yoshida O, Imai M, Nakamura S, Enomoto H, Kaibori M, Kudo M, Hiasa Y, Kumada T; Real-life Practice Experts for HCC (RELPEC) Study Group; HCC 48 Group (hepatocellular carcinoma experts from 48 clinics in Japan). Limited Prognostic Impact of Sustained Virologic Response on Atezolizumab plus Bevacizumab Therapy for HCV-Related Unresectable Hepatocellular Carcinoma. *Oncology*. 1-10 (2025.8.8)
39. Hatanaka T, Shibuya K, Kakizaki S, Hiraoka A, Tada T, Kariyama K, Itobayashi E, Tsuji K, Ishikawa T, Toyoda H, Koshiyama Y, Naganuma A, Miyasaka Y, Kanayama Y, Tanaka K, Tada F, Ohama H, Nouse K, Nakamura S, Kumada T, Ohno T; Real-life Practice Experts for HCC (RELPEC) Study Group. Carbon-ion radiotherapy achieves outcomes equivalent to surgical resection for hepatocellular carcinoma. *Hepatol Commun* 9(9). e0801 (2025.8.29)
40. Hatanaka T, Kakizaki S, Hiraoka A, Tada T, Kariyama K, Itobayashi E, Tsuji K, Ishikawa T, Toyoda H, Koshiyama Y, Naganuma A, Kanayama Y, Tanaka K, Tada F, Ohama H, Nouse K, Nakamura S, Kumada T; Real-life Practice Experts for HCC (RELPEC) Study Group. Comparison of Surgical Resection and Radiofrequency Ablation for Early-Stage HCC Patients With Child-Pugh Class B. *J Gastroenterol Hepatol* 40(8). 2068-2077 (2025.8)
41. Tada F, Hiraoka A, Ohama H, Kimura Y, Nakamura A, Matsuoka K, Matsuda T, Kato K, Murakawa K, Onishi K, Izumoto H, Kitahata S, Kanemitsu-Okada K, Kawamura T, Kuroda T, Hanaoka J, Watanabe J, Ohtani H, Miyake T, Yoshida O, Hirooka M, Miyata H, Tsubouchi E, Abe M, Matsuura B, Ninomiya T, Hiasa Y. Dynamic changes in the characteristics of hepatocellular carcinoma among Japanese patients: Increasing incidence of cases without liver fibrosis. *Hepatol Res* 55(8). 1149-1158 (2025.8)
42. Matono T, Tada T, Kumada T, Hiraoka A, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Nishikawa H, Tanaka K, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Koshiyama Y, Toyoda H, Ogawa C, Hatanaka T, Kakizaki S, Kawata K, Ohama H, Tada F, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Nishimura T, Imai M, Kosaka H, Naganuma A, Aoki T, Kuroda H, Yata Y, Tamai H, Matsuura T, Komatsu S, Ueda Y, Nakamura Y, Yoshida O, Matsui K, Nakamura S, Enomoto H, Kaibori M, Fukumoto T, Hiasa Y, Kudo M; Real-life Practice Experts for HCC (RELPEC) Study Group and the Hepatocellular Carcinoma Experts from 48 clinics in Japan (HCC 48) Group. Vascular Invasion Within the Resectability Criteria Is a Prognostic Factor in Patients Treated With Atezolizumab and Bevacizumab. *Liver Int* 45(8). e70217 (2025.8)
43. Hatanaka T, Yata Y, Hiraoka A, Tada T, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Kakizaki S, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Toyoda H, Koshiyama Y, Ogawa C, Nishikawa H, Nishimura T, Kawata K, Kosaka H, Matsui K, Naganuma A, Tanaka H, Ohama H, Kuroda H, Matono T, Aoki T, Ochi H, Imai M, Nakamura S, Komatsu S, Tamai H, Okamura J, Kanayama Y, Tanaka K, Tada F, Yoshida O, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Matsuura T, Noritake H, Enomoto H, Kaibori M, Fukumoto T, Hiasa Y, Kudo M, Kumada T; Real-life Practice Experts for HCC (RELPEC) Study Group, and HCC 48 Group (hepatocellular carcinoma experts from 48 clinics in Japan). Efficacy and Safety of Durvalumab Plus Tremelimumab in Hepatocellular Carcinoma Patients With Portal Vein Thrombosis and High Tumor Burden: A Multicenter Retrospective Analysis. *Hepatol Res* 56(1). 89-99 (2025.9.6)
44. 北畑翔吾. 炎症を促すの?抑えるの?どっち!?2 つの仮面をもつサイトカイン: IL-27. 消化器病学サイエンス 9 巻(3 号). 先端医学社. 166-171 (2025.9)
45. Matono T, Tada T, Kumada T, Hiraoka A, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Nishikawa H, Tanaka K, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Koshiyama Y, Toyoda H, Ogawa C, Hatanaka T, Kakizaki S, Kawata K, Ohama H, Tada F, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Nishimura T, Imai M, Kosaka H, Naganuma A, Aoki T, Kuroda H, Yata Y, Tamai H, Matsuura T, Komatsu S, Ueda Y, Nakamura Y, Yoshida O, Nakamura S, Enomoto H, Kaibori M, Fukumoto T, Hiasa Y, Kudo M; Real-life Practice Experts for HCC (RELPEC) Study Group and the Hepatocellular Carcinoma Experts from 48 clinics in Japan (HCC 48) Group. Neutrophil-Lymphocyte Ratio Predicts Overall Survival in Patients With HCC Treated With Durvalumab Plus Tremelimumab. *Hepatol Res* 55(9). 1285-1295 (2025.9)
46. Hiraoka A, Namisaki T, Nakai M, Hara N, Takahashi H, Eguchi Y, Ohama H, Tada F, Sakamoto N, Yoshiji H. Relationship between Daily Physical Activity and Muscle Cramping in Elderly Liver Cirrhosis Patients: A Multicenter Study. *Intern Med* 64(19). 2817-2822 (2025.10.1)
47. 平岡淳, 大濱日出子, 多田藤政. 9 肝予備能検査. 肝臓まるかじり. 診断と治療社. 44-49 (2025.10.23)
48. 大濱日出子. 07 肝硬変 08 薬物性肝障害 09 肝嚢胞 10 肝血管腫. 消化器ナーシング 2025 秋季増刊 消化器疾患 80 マスターBOOK. メディカ出版. 115-125 (2025.10)
49. Tanaka K, Tsuji K, Hiraoka A, Tada T, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Ishikawa T, Tajiri K, Ohama H, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Hatanaka T, Kakizaki S, Kawata K, Naganuma A, Kosaka H, Matono T, Kuroda H, Yata Y, Nishikawa H, Imai M, Aoki T, Ochi H, Kanayama Y, Tada F, Nakamura S, Nouse K, Morishita A, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Tsutsui A, Tanaka H, Noritake H, Kaibori M, Hiasa Y, Kudo M, Kumada T; Real-life Practice Experts for HCC

- (RELPEC) Study Group and HCC 48 Group (hepatocellular carcinoma experts from 48 clinics in Japan). Clinical Utility of a Prognostic Scoring System Based on LDH and CRP in HCC Patients Receiving Atezolizumab Plus Bevacizumab. *Liver Int* 45(10). e70286 (2025.10)
50. Ninomiya M, Tsuruoka M, Inoue J, Hiraoka A, Sano A, Sato K, Onuki M, Sawahashi S, Ouchi K, Watanabe K, Kuroda H, Oikawa T, Abe T, Fujita M, Abe K, Katsumi T, Sato W, Igarashi G, Iino C, Tanabe N, Numao H, Ohira H, Ueno Y, Masamune A. A New Model to Predict Survival Time in Patients With Hepatocellular Carcinoma With BCLC Advanced Stage. *Cancer Med* 14(20). e71299 (2025.10)
51. Kariyama K, Nouse K, Hiraoka A, Toyoda H, Tada T, Tsuji K, Ishikawa T, Hatanaka T, Itobayashi E, Takaguchi K, Tsutsui A, Naganuma A, Yasuda S, Kakizaki S, Tada F, Ohama H, Wakuta A, Shiota S, Kumada T; Real-Life Practice Experts for HCC (RELPEC) Study Group. Identification of high-risk group for diabetes- associated hepatocellular carcinoma using noninvasive test for liver fibrosis. *Eur J Gastroenterol Hepatol* 37(11). 1269-1274 (2025.11.1)
52. Kariyama K, Nouse K, Hiraoka A, Tada F, Ohama H, Toyoda H, Yasuda S, Tada T, Tanaka K, Tsuji K, Itobayashi E, Tsutsui A, Takaguchi K, Imai M, Ishikawa T, Hatanaka T, Kakizaki S, Naganuma A, Ueda Y, Matono T, Tamai H, Okamura J, Tanaka H, Yata Y, Wakuta A, Kudo M, Kumada T; Real-Life Practice Experts for HCC (RELPEC) Study Group. Evolution of Hepatocellular Carcinoma Treatment Outcomes Over Two Decades in Japan: Improvements in Early-Stage Viral Disease. 56(3). 351-358 (2025.11.11)
53. Kitahata S, Fukumoto M, Matsuoka K, Matsuda T, Murakami T, Onishi K, Izumoto H, Kanemitsu K, Kawamura T, Kuroda T, Matsuoka J, Tada F, Miyata H, Hiraoka A, Tange K, Yamamoto Y, Takeshita E, Ikeda Y, Furukawa S, Tsubouchi E, Ninomiya T, Hiasa Y. Factors associated with ulcerative colitis with non-anemic iron deficiency. *BMC Gastroenterol* 25. 808 (2025.11.14)
54. 平岡淳. 第III章 消化器癌のレジメン 肝臓 36 ラムシルマブ. オンコロジー クリニカルガイド 改訂 6 版. 南山堂. 164-165 (2025.11)
55. Ohama H, Hiraoka A, Tada T, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Tanaka H, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Hatanaka T, Kakizaki S, Kawata K, Naganuma A, Kosaka H, Matono T, Kuroda H, Yata Y, Nishikawa H, Imai M, Aoki T, Ochi H, Tamai H, Komatsu S, Tada F, Nakamura S, Nakamura Y, Miyake T, Yoshida O, Nouse K, Morishita A, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Tsutsui A, Nagano T, Tanaka K, Matsuura T, Koshiyama Y, Kanayama Y, Noritake H, Enomoto H, Matsui K, Kaibori M, Fukumoto T, Hiasa Y, Kudo M, Kumada T; RELPEC Group and HCC 48 Group. Potential role of Geriatric Nutritional Risk Index as a risk factor for immune-mediated adverse events during durvalumab plus tremelimumab therapy in unresectable hepatocellular carcinoma. *J Gastroenterol* 60(11). 1427-1436 (2025.11)
56. Matono T, Tada T, Kumada T, Hiraoka A, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Nishikawa H, Tanaka K, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Koshiyama Y, Toyoda H, Ogawa C, Hatanaka T, Kakizaki S, Kawata K, Noritake H, Ohama H, Tada F, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Nishimura T, Imai M, Kosaka H, Naganuma A, Aoki T, Kuroda H, Yata Y, Tamai H, Matsuura T, Komatsu S, Ueda Y, Nakamura Y, Yoshida O, Matsui K, Nakamura S, Enomoto H, Kaibori M, Fukumoto T, Hiasa Y, Kudo M; Real-life Practice Experts for HCC (RELPEC) Study Group and the Hepatocellular Carcinoma Experts From 48 Clinics in Japan (HCC48) Group. Safety and Efficacy of Durvalumab Plus Tremelimumab in Older Individuals With Unresectable Hepatocellular Carcinoma: A Multicenter Analysis. *Hepatol Res* 55(11). 1507-1517 (2025.11)
57. Hiraoka A, Ohama H, Tada F, Kimura Y, Nakamura A, Murakawa K, Matsuda T, Matsuoka K, Kato K, Onishi K, Izumoto H, Kitahata S, Kanemitsu-Okada K, Kawamura T, Kuroda T, Miyata H, Tsubouchi E, Yoshida O, Hirooka M, Abe M, Matsuura B, Ninomiya T, Yoshio S, Hiasa Y. Development of Simplified Risk Assessment Scoring System for Sarcopenia in Patients With Chronic Liver Disease. *Hepatol Res* 55(11). 1486-1495 (2025.11)
58. 大濱日出子, 平岡淳, 多田藤政. これからの肝疾患診療 5 肝細胞癌~診断と治療の最前線~. *BIO Clinica* 40 巻(14 号). 1257-1262 (2025.12.10)
59. Itonaga M, Ogura T, Takenaka M, Matsumoto K, Shiomi H, Shintani S, Kamada H, Yamashita T, Mandai K, Asada M, Imai H, Takeshita K, Ikeura T, Fujimori N, Kinoshita M, Ikezawa K, Sugimori S, Kitagawa K, Sagami R, Kokubu M, Kuroda T, Nishioka N, Hatamaru K, Minaga K, Wan K, Shimokawa T, Kitano M. Adverse Events of EUS-Guided Biliary Drainage for Malignant Biliary Obstruction: A Large Multicenter Study. *J Hepatobiliary Pancreat Sci* 33(3). 228-239 (2025.12.26)
60. Tada F, Hiraoka A, Ohama H, Saito M, Kimura Y, Nakamura A, Usui T, Kato K, Onishi K, Kitahata S, Kanemitsu-Okada K, Kawamura T, Kuroda T, Ishimura N, Hanaoka J, Watanabe J, Ohtani H, Miyake T, Yoshida O, Hirooka M, Miyata H, Tsubouchi E, Abe M, Ninomiya T, Hiasa Y. Prognostic Stratification of Initial Treatments for Hepatocellular Carcinoma Using a Modified Borderline Resectable Classification. *Cancer Med* 14(24). e71470 (2025.12)
61. Ueshima K, Tsuchiya K, Yamashita T, Shimose S, Numata K, Kodama Y, Itoh S, Tanaka Y, Kuroda H, Ohkawa K, Kuzuya T, Ikeda M, Kooka Y, Aikata H, Hiraoka A, Moriguchi M, Tateishi R, Ogasawara S, Yamamoto K, Kudo M. Atezolizumab Plus Bevacizumab for TACE-Unsuitable Intermediate-Stage HCC Beyond Up-To-7 Criteria: Final Analysis of REPLACEMENT. *Liver Int* 45(12). e70379 (2025.12)
62. Hatanaka T, Saito N, Kakizaki S, Hiraoka A, Tada T, Kariyama K, Tani J, Takaguchi K, Itobayashi E, Ishikawa T, Toyoda H, Kawata K, Naganuma A, Yata Y, Ohama H, Matono T, Tada F, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Naganuma T, Nakamura S, Kumada T; Real-life Practice Experts for HCC (RELPEC) Study Group. Factors Affecting an Increase in Spleen Volume and Association of Spleen Volume Variation with the Clinical Outcomes of Atezolizumab and Bevacizumab Treatment for Hepatocellular Carcinoma: A Retrospective Analysis. *Oncology* 103(2). 94-106 (2025)
63. 信森海南, 壺内栄治, 中村綾花, 松田拓也, 黒田太良, 多田藤政, 平岡淳, 二宮朋之. 出血をきたした胃有茎性 hamartomatous inverted polyp の 1 例. *愛媛医学* 44 巻(3 号). 126-131 (2025)
64. 平岡淳, 多田藤政, 大濱日出子. 【慢性肝炎のトピックス~奈良宣言 2023 を踏まえて~】肝細胞癌の現状. *日本医科大学医学会雑誌* 21 巻(3 号). 235-242 (2025)
65. 平岡淳, 大濱日出子, 多田藤政. 脂肪性肝疾患由来肝細胞癌の特徴とその治療法. *日本臨牀* 83 巻(1 号). 124-128 (2025)
66. 村川和也, 多田藤政, 平岡淳, 大濱日出子, 木村優伽, 中村綾花, 松岡海南, 松田拓也, 加藤佳夏子, 大西慶, 泉本裕文, 北畑翔吾, 兼光梢, 川村智恵, 黒田太良, 宮田英樹, 壺内栄治, 栄枝弘司, 中村由子, 三宅映己, 廣岡昌史, 二宮朋之, 日浅陽一. Atezolizumab/Bevacizumab 治療中に腫瘍内動脈瘤形成がみられた切除不能肝細胞癌の 2 症例. 66 巻(9 号). 397-406 (2025)
67. 北畑翔吾. 便秘を診る: 研修医のための便秘診療実践ガイド. *レジデントノート* 27 巻(12 号). 羊土社. 2367-2373 (2025)
68. 平岡淳, 多田藤政, 熊田卓. デュルバルマブ・トレメリムマブ併用療法の初期使用経験・RELPEC/HCC48 多施設データ. *肝胆膵. アークメディア*. 242-247 (2025)